

公益社団法人日本口腔外科学会  
口腔外科疾患調査のデータを入力する際の注意点及びQ & A

1. 「口腔外科受診症例」の各項目該当疾患および記入上の注意点

その他の唇顎口蓋裂

鼻咽腔閉鎖不全など

その他の顎変形症

上顎前突症、開咬症など

その他の先天異常・発育異常

小帯異常、先天性口唇瘻など

膿瘍

頬部膿瘍、顎下膿瘍、口底膿瘍、蜂窩織炎など

歯周に局限したP、Per、Pericoなどはこれに含めず、「歯」の項目に分類してください。

その他の顎骨炎

BRONJ、ARONJ、MRONJ以外の顎骨炎、抜歯窩治癒不全など

特異性炎

放線菌症、結核、梅毒など

口腔乾燥症

シェーグレン症候群など

口腔乾燥症が主症状であるものをこの項目に分類してください。

その他の口腔粘膜疾患

口内炎、天疱瘡、褥瘡性潰瘍、口腔カンジダ症、色素沈着、黒毛舌、地図状舌など

歯源性嚢胞

歯根嚢胞、含歯性嚢胞、歯源性角化嚢胞など

非歯源性嚢胞

鼻口蓋管嚢胞、術後性上顎嚢胞、単純性骨嚢胞など

#### 軟組織嚢胞

粘液嚢胞、ラヌーラ、類皮嚢胞など

#### その他の歯原性腫瘍

歯牙腫、セメント芽細胞腫など

#### 非歯原性腫瘍

乳頭腫、線維腫、血管腫など

#### 腫瘍類似疾患

口蓋隆起・下顎隆起などの外骨症、エプーリスなど

#### 歯科心身症

舌痛症、口腔異常感症など

#### その他の神経性疾患

味覚異常、オーラルディスキネジアなど

#### その他の悪性腫瘍

リンパ節転移、転移性腫瘍など

- ・ 1患者で複数の項目に該当する場合は、該当する項目全てに記入してください。

## 2. 「口腔外科入院手術症例」の記入上の注意点

- ・ 1患者で複数の項目に該当する場合は、該当する項目全てに記入してください。

例えば、上下顎骨切りで、上顎を Le Fort I 型骨切り術、下顎を下顎枝矢状分割術を行った場合には、それぞれ 1 と記入してください。また、下顎の一侧で下顎枝矢状分割術、その反対側で下顎枝垂直骨切り術を行った場合は、それぞれ 0.5 と記入してください。

- ・ 調査票の分類 (A-1、B-1 等) は、2013 年 10 月 10 日の総会で改正されました手術難易度区分表を参考にしたものです。

## Q & A

2012.6.19 作成  
2012.8.9 Q 8 ~ 17 を追記  
2013.7.10 Q18 ~ 20 を追記  
2014.8.5 Q21 ~ 27 を追記  
2014.8.20 Q28 ~ 29 を追記  
2018.1.19 Q26 回答修正  
2020.12.22 Q30 ~ 31 を追記

- 1 . 口腔外科受診症例とは初診、再診の全てを含むのでしょうか？  
A : 当該年の初診症例のみを集計するものですが、他疾患で通院中の患者でも口腔外科の新たな疾患が発見された場合は症例数として算定してください。
- 2 . 一度終診した症例が再発・再燃した場合と継続して再診する場合の取り扱いは？  
A : 一度完全に終診した症例が、再発あるいは再燃した症例であっても口腔外科受診症例として取り扱ってかまいませんが、継続して再診している場合はその期間に関わらず含まないものとします。
- 3 . 口腔外科受診症例で主訴や処置、診療希望がなく、医療側が診断した場合は？  
A : 治療を行っていない場合は受診症例となりません。
- 4 . 経過観察のみとなった症例で確定診断ができないものは臨床診断でよいですか？  
A : 臨床診断で算定してかまいません。
- 5 . 他科あるいは他施設から精査やコメントを求められただけの症例は算定しますか？  
A : 症例数に算定できません。
- 6 . 唇顎口蓋裂や顔面骨折後の患者などで、歯科補綴、歯科矯正処置依頼で受診した症例は算定しますか？  
A : この調査は口腔外科の受診症例調査ですから症例数には入りません。
- 7 . 口腔内多発癌の症例の扱いは？  
A : 時期を同じくして多発癌を発見し、加療した場合は1症例とします。しかし、第1癌の1次治療後に1年以上経過して発見された場合には、2症例として差し支えありません。
- 8 . 入院手術症例で、抜歯、歯根端切除、インプラント関連は、本数が何本であっても1回の手術であれば「1」でよろしいでしょうか？  
A : はい、そうです。

9. 受診症例で、小児の「正中過剰埋伏歯」は「その他の先天異常」と「歯—埋伏歯」のどちらに算定したらよいのでしょうか？

A：「正中過剰埋伏歯」は「歯—埋伏歯」に入れてください。

10. 入院手術症例で、「嚢胞摘出術」と「歯根端切除術」を一連の手術として実施した場合、それぞれの欄（A-1 と B-2）に算定してよいのでしょうか？

A：それぞれの欄に算定してください。

また、1回の手術で2歯以上に「歯根端切除術」を行っても、「1」と算定してください。「嚢胞摘出術」も同様に1回の手術では「1」と算定してください。

11. 悪性腫瘍手術で、「舌亜全摘」は「舌半側切除」と「舌全摘」のどちらに分類するのでしょうか？

A：「舌全摘術」に入れてください。

12. 「上顎亜全摘」は「上顎部分切除」と「上顎全摘」のどちらに分類するのでしょうか？

A：「上顎全摘」に入れてください。

13. 入院手術症例の顎変形症患者のプレート除去、外傷症例（骨折）のプレート除去はどちらに分類するのでしょうか？

A：記号 C-1 異物除去術に入れてください。

14. 外傷症例（軟組織損傷）のデブリードマン、縫合術はどちらに分類するのでしょうか？

A：記号 C-1 その他の手術に入れてください。

15. 舌小帯、頬小帯伸展術はどちらに分類するのでしょうか？

A：記号 A-2 その他の手術に入れてください。

16. 悪性腫瘍症例の遊離皮膚移植術はどちらに分類するのでしょうか？

A：記号 D-2 その他の手術に入れてください。

17. 口腔ケアの症例はどこに分類したらよいのでしょうか？

A：実際の病名に沿って分類してください。「歯」の項目の「P, Per など」に分類されることが多いと思います。また「口内炎」や「口腔カンジダ症」が主たる症状の場合には、「その他の口腔粘膜疾患」に分類してください。

18. 口唇形成後の抜糸を全身麻酔下(マスク換気)で行っているのですが、入院手術症例に入ります

でしょうか？

もし入るのであればどの項目に入れるかも併せてご教示ください。

A：抜糸処置のための全身麻酔ですので、入院手術症例に入れなくて結構です。

19．腫瘍の手術に伴う気管切開もしくは、緊急気管切開はどの項目に入りますでしょうか？

A：気管切開は入院手術症例に入れなくて結構です。

20．腫瘍の術後にボルヒールとネオパールにて創面の被覆をおこなった際は、D-2 のその他の手術に入りますでしょうか？

A：腫瘍の手術のみ舌部分切除術など該当する項目に入れてください。ボルヒールとネオパールにて創面の被覆をおこなった際に、D-2 のその他の手術に入れる必要はありません。

21．ORN で区域切除を行った場合は、B-1 の顎骨骨髓炎消炎手術 or その他の手術、どちらに分類されますか？

A：B-1 の顎骨骨髓炎消炎手術に算定してください。

22．BRONJ で区域切除を行った場合は、B-1 の顎骨骨髓炎消炎手術 or その他の手術、どちらに分類されますか？

A：B-1 の顎骨骨髓炎消炎手術に算定してください。

23．全身麻酔下で下顎骨骨折非観血的整復術を行った場合は、C-1 の下顎骨骨折手術 or その他の手術、どちらに分類されますか？

A：その他の手術に算定してください。

24．悪性リンパ腫疑いで、全身麻酔下にリンパ節生検術を行った場合には、D-1 のその他の手術に分類されますか？

A：生検は入院手術症例に含みません。

25．下顎骨腫瘍の疑いで、生検術を行った場合には、どこに分類されますか？

D-1 のその他の手術に分類されますか？

A：生検は入院手術症例に含みません。

26．舌癌の診断で、腫瘍切除術後に、分層植皮術を行った場合、Q&A の 20 に示されているよう、カウントする必要はないのですか？カウントする必要があるのであれば、D-2 のその他の手術に分類すればいいですか？

A：ボルヒールとネオパールによる創面の被覆はカウントする必要はありませんが、遊離皮膚移植術の場合は、D-2 のその他の手術として算定してください。

27. アミロイドーシスは腫瘍類似疾患として扱ってよいですか？

A：どの項目にも該当しませんので算定する必要はありません。

28. クリニカルパスで1泊2日の入院をし、外来にて親知らずを抜歯した症例はカウントしてよいでしょうか。

A：入院下での抜歯ですのでカウントしてください。

29. 有病者の患者様で、1泊2日の入院をして親知らずを抜歯した症例はカウントしてよいでしょうか。

A：入院下での抜歯ですのでカウントしてください。

30. 外来で手術をし、術後経過を診るためにそのまま入院した場合の症例はどのようにカウントしたらよいでしょうか。

A：手術は外来症例、入院症例には術後管理のためとしてカウントしてください。

31. 1患者で「埋伏智歯(右上顎、左下顎)、下顎左側偏位、開咬」の治療を行っている症例は、どのように入力すればよいのでしょうか？

A：1患者で2つの項目に入力してください。

・埋伏歯 歯 - Perico、埋伏歯、位置異常：1

・下顎左側偏位、開咬 先天異常・発育異常 - 顎変形症：1

以 上